

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 28 日

事業所名 _____ ネクストステップ _____

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動場面や利用者の状態に応じて、ホールや個室などを使い分けて対応している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			現状では対応できていると思う。今後利用者が増えてくると人員の見直しが必要になってくると思う。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			部屋の使い方をイラストで示している。また、スケジュールなど分かりやすいよう掲示している。必要に応じて、個別対応を行っている。室内は車いすを利用できるように、バリアフリーになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			職員間でカンファレンスやミーティングを行い、情報共有を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			昨年度より保護者からの事業所評価を実施し、業務内容について見直し対応している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			昨年度より評価結果をホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		今後、外部評価受診に向けて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社会福祉協議会や県の発達障害支援センターなどの研修に参加している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントツール活用し、カンファレンスやモニタリングで情報を共有し支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシートを利用している。内容については、適宜見直し必要に応じて修正を行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティングで具体的な内容を共有し活動内容を決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節の遊びなどを取り入れてプログラムが固定化しないようにしている。お出かけやレクリエーション活動においても様々な経験が出来るように心がけている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用時間に応じて集団活動や個別支援、お出かけや交流行事など活動のバリエーションを増やし個々の課題に対応出来るようにしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			モニタリングなどでニーズを聴取しながら、必要な支援を行えるように努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			前日に大まかな予定を立て、当日の朝礼にて予定を再度共有し確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			翌日の朝礼時に昨日の振り返りや申し送りを行っている。必要に応じて、カンファレンスを行い対応方法について検討している。話し合った内容については記録に残し、職員間で共有できる体制を取っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 28 日

事業所名 _____ ネクストステップ _____

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			実施した支援内容を記録に残し整備している。連絡事項や申し送りなどはノートを活用し些細なことでも記録するように心がけている。	
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			カンファレンスを通して利用者の情報共有を行っている。6か月に1回以上の頻度でモニタリングを行い支援計画の振り返りや修正を行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ガイドラインを参照しながら支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			会議の内容に応じて、出席者を相談し決めている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			年度初めに学校とおたよりや送迎時間などについて情報共有を行っている。適宜、送迎時に先生から申し送りを受け対応している。	
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			利用開始までに、主治医や緊急時の対応方法など連絡体制を確認している。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			児童発達支援事業所を利用されている場合には、利用前のサービス担当者会議にて共有するようにしている。また、発達支援センターや保育所等の様子は相談支援員や保護者から聴取している。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		該当者がいないため、判断できず。	適宜、相談支援員や次に利用される事業所へ申し送りを行い支援を継続できるように情報共有を行っていく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			支援方法など発達支援センターに適宜相談し助言を受けている。また、発達支援センターなどの研修に参加している。	今後はより積極的に連携・相談を行い支援内容を充実させていきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			事業所内の学童保育と日常的に交流する機会を持っている。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			能美市子ども連絡会や事業所連絡会に定期的に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングの機会などを通して情報共有を行うように努めている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			姿勢や遊びに関すること、生活場面において出来るようなこと(自助具の提案)など必要に応じて支援を行っている。	利用者のニーズに合わせて対応できるように、研修などに参加し支援体制を整えていく。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始前に説明を行っている。また、施設内に掲示している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリングなど適宜対応するように心がけている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 28 日

事業所名 _____ ネクストステップ _____

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		能美市子育てネットワークと共催で「ゆるにこサロン」を行っている。	集いの場としてはありますが、今後はイベントなど企画の検討を行っていきたいと思っています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			早急に対応できるように事業所内で連絡体制を整えている。必要に応じて、ミーティングを行い職員間で共有している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月「おたより」を発行し、活動内容や予定を伝えている。	
	35 個人情報に十分注意している	○			関連機関と連携する際には、家族に了解を得るようにしている。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			必要に応じて絵カードやジェスチャーなどを使い意思疎通を取れるようにしている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			事業所単独では行っていないが、G-Hillsとして地域の方が参加できるようなイベントを行っている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時に説明している。適宜、感染症流行時に書面にて連絡方法についてお知らせを行っている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回以上避難訓練を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年に3回虐待防止の研修を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○	該当者がいないため、判断できず。	必要時に対応できるように、手順を確認している。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食事アレルギーなどがある場合には、書類の記載をお願いしている	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事業所内で共有し対応策を立てている。	